

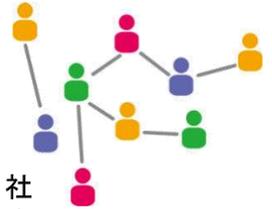
# クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館



## 偽情報への対処と国連



取り組みの歩み

国連が偽情報の問題を重視するのは、単に「誤った情報が広がる」というレベルを超え、社会の安全や信頼に深刻な影響を及ぼす可能性があるためです。例えば、ヘイトスピーチや虚偽の情報が対立や暴力を招き、平和を脅かすことがあります。また、パンデミック時の誤情報や気候変動の科学的根拠を否定する言説は、人々の健康や環境保護の取り組みを妨げます。さらに、選挙への介入や公的機関への不信を生む情報操作は、民主主義の基盤を揺るがしかねません。こうしたリスクを防ぐことが、国連が情報の誠実性を重視する大きな理由です。

| 年代    | 主要な出来事・取り組み   | 内容のポイント  |
|-------|---|--|
| 2019年 | ヘイトスピーチに関する国連戦略・行動計画の発表   | 差別や暴力を煽る言葉への対抗策を策定   |
| 2020年 | 「Verified(検証済み)イニシアチブ」<br>:「Pause/ちょっと待ってキャンペーン」  | SNSで情報を共有する前に少し立ち止まり、内容の確かさや影響を考えることを呼びかけた。COVID-19をめぐるデマ拡散への対策として始まった取り組みで、信頼できる情報環境を守ろうとする実践例。 |
| 2021年 | 「私たちの共通の課題(Our Common Agenda)」  | 事務総長がデジタル空間の健全化を優先課題に設定  |
| 2024年 | 「情報の誠実性のためのグローバル原則<br>(The United Nations Global Principles for Information Integrity)」 | 政府、テクノロジー企業、広告主への具体的な指針  |

### 「情報の誠実性のための国連グローバル原則」

「情報の誠実性のための国連グローバル原則」は、国連が、インターネットやSNSの普及によって広がる偽情報や分断の問題に対応するために示した重要な指針です。この考え方は、未来の国際協力の方向性を示した2021年の報告書『私たちの共通の課題(Our Common Agenda)』の提案から生まれました。情報があふれる現代において、正確で公正な情報を守ることは、民主主義や平和、持続可能な社会を支える基盤であり、この原則はその実現に向けた国際的な道しるべといえます。

国連広報センターによる日本語仮訳 2024年10月  
<https://www.un-icr.or.jp/files/un-global-principles-for-information-integrity-JP.pdf>

### 「情報の誠実性のための5原則」

- 1 社会的信頼とレジリエンス(強靱性)  
→ 誤情報に左右されない社会づくり  
フェイクニュースや分断に強い社会を目指す
- 2 健全なインセンティブ  
→ 信頼できる情報が評価される仕組みをつくる  
偽情報で利益を得る事業構造(広告収益など)の是正
- 3 人々のエンパワーメント  
→ 一人ひとりの情報判断力の向上  
教育、メディア・リテラシーなどを含む
- 4 独立した自由で多元的なメディア  
→ 自由で多様なメディアが健全に活動できる環境づくり
- 5 透明性と研究  
→ 情報の仕組みを明らかにし、検証して改善していく  
アルゴリズムや広告の透明性などを含む

## 偽情報と誤情報

偽

Disinformation  
: 偽情報(意図的に流布される誤った情報)

誤

Misinformation  
: 誤情報(悪意なく広まる誤った情報)

「偽情報」とは、個人、社会集団、組織または国に危害を与えるため、意図的 / 意識的に作られたウソ(虚偽)の情報のことをさします。「誤情報」とは、危害を引き起こす意図で作成されたものではなく、勘違い / 誤解により拡散した間違い情報のことをいいます。

総務省: ICT活用リテラシー向上プロジェクト  
「ネット&SNSよりよくつかって未来をつくろう」より

◆◇今月の注目資料◇◆ (福岡市総合図書館所蔵)

# メディア・リテラシー について考える

『10歳からの図解でわかるメディア・リテラシー』

：「情報を読み解く力&発信する力」が身につく本』

中橋 雄／監修 メイツユニバーサルコンテンツ 2023年 2階 A3

新聞やテレビ、インターネットなどのメディアと上手に付き合うための基本を、イラストでわかりやすく解説した児童書。情報を読み解く力や発信する力を育て、身近なメディアの影響に気付きながら、より良い関わり方を考えるヒントが得られます。

『フェイクに惑わされないための情報を見抜く技術』

瀬戸口 誠／著 ナツメ社 2025年 2階 A3



フェイク情報に惑わされないための情報の見極め方や、効率的な調べ方を解説しています。メディアごとの特性や信頼性の判断基準、検索のコツを具体的に紹介し、正確な情報にたどり着く力を養います。学習や仕事にも役立つ実践的な内容です。

『ユネスコフェイクニュース対応ハンドブック：SNS時代のジャーナリズム教育』

ユネスコ／編，加納 寛子／訳監修 明石書店 2023年 2階 A3



国連の専門機関として情報・コミュニケーション分野を担当し、表現の自由とジャーナリストの安全に取り組んでいるユネスコによるハンドブックです。情報があふれる SNS 時代に、フェイクニュースとどう向き合うかを解説し、偽情報の種類やメディア環境の変化、ファクトチェックの方法などを紹介しています。情報を正しく読み取り、公正に伝えるための視点と実践力を磨くために役立つ本です。

## ご存知ですか？ 国際デー



**4月2日**  
世界自閉症啓発デー  
World Autism  
Awareness Day

「世界自閉症啓発デー」公式ホームページ

: <https://www.un.org/en/observances/autism-day>

国連は 2007 年 12 月の国連総会において、4月2日を「世界自閉症啓発デー」と宣言する決議(A/RES/73/251)を採択しました。

自閉症は幼少期に現れる神経学的な特性で、生涯にわたりさまざまな特徴が見られます。理解不足や偏見をなくし、適切な支援や受容を広げること、自閉症のある人が社会の一員として豊かに暮らせる共生社会を目指しています。日本各地のランドマークでも啓発デーのイメージカラーであるブルーにライトアップする取り組みや、講演会・展示会等のイベントが開催される予定です。

## 編集後記



SNS などで情報がすぐ届く時代だからこそ、誤情報や偽情報への向き合い方がこれまで以上に大切になっています。今回紹介した国連の取り組みも、その課題への国際的な挑戦です。私たちもシェアの前に少し立ち止まり、確かめる習慣を意識したいものです。小さな心がけが、より安心できる情報環境につながるはずです。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください！



# 九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階  
TEL 092 (852) 0628

開館時間：10:00～20:00  
10:00～19:00(日・休日)  
\*相談業務は19:00(日・休日 18:00)まで  
休 み：毎週月曜・毎月月末  
(休日のときはその翌平日)  
年末年始・図書特別整理期間